

1. 産業カウンセラーの業務の3つの主要機能

- ① 相談機能      ② 教育機能      ③ 環境調整機能

2. 産業カウンセラーの活動領域

- (1) メンタルヘルス対策への援助      (2) キャリア開発への援助      (3) 人間関係開発への援助

3. 今日の産業カウンセラーの基礎となっている、3つの主要理論

精神分析療法      来談者中心療法      行動療法

4. THP 6人衆

- ・産業医    ・運動指導担当者      ・運動実践担当者
- ・心理相談担当者      ・産業栄養指導担当者
- ・産業保健指導担当者

5. 「他社でも通用する就業能力」「継続して雇用され得る能力」のこと

エンプロイ・アビリティ

6. 人事管理の3つの機能

- ① 雇用管理      ② 報酬管理      ③ 労使関係管理

7. 心理アセスメントの主なもの(4つ)

観察法      面接法      記録分析法      心理検査法

8. 心理テストについて

- (1) 信頼性      (2) 妥当性      (3) 客観性

9. ポジティブアクション

10. 精神障害について

- (1) 病識      (2) 病感      (3) 事例性

11. ストレスコーピングについて

ストレスへの対処行動のこと。ストレスの基(ストレッサー)にうまく対処しようとする。

12. 産業カウンセラーの源流

職業指導運動・パーソンズ      教育測定運動・ソーンダイク      精神衛生運動・ピアーズ